

第 13 回在宅医療推進委員会以降の動き

1) もしもの時のあんしん手帳改訂版 作成作業委員会（平成 27 年 12 月 11 日（金）午後 7 時～）

参加者 9 名

- ・米子市在宅フォーラムにて参加者へ配布（H28/2/11）

2) 米子市在宅医療フォーラム

- ・米子市在宅フォーラム（主催/米子市・共催/鳥取県西部医師会）

日時：平成 28 年 2 月 11 日（祝・木）午後 1 時～午後 4 時 30 分

場所：米子市文化ホール メインホール

参加者：397 名

「健康で安心して暮らせる米子のこれから」

第 1 部：「在宅医療推進フォーラム」

課題提起：「米子市の未来予想図 2：在宅医療の課題」

鳥取大学医学部地域医療学講座教授 谷口 晋一 先生

基調講演：「在宅医療～あなたは、どんな生き方を望みますか？～」

医療法人聖徳会小笠原内科院長・日本在宅ホスピス協会会長 小笠原 文雄 先生

第 2 部：「未来への取り組み」

講演：「とりだい病院の新たなチャレンジ」

鳥取大学医学部附属病院次世代高度医療推進センター長 講師 植木 賢 先生

3) 鳥取県西部地区医療連携協議会（鳥大医学部）

主催・鳥取県西部地区医療連携協議会、鳥取県西部医師会、鳥取県（西部総合事務所福祉保健局）、
鳥取大学医学部附属病院 共催・米子市、境港市、鳥取県西部町村会

日時：平成 28 年 2 月 18 日（木）午後 6 時～午後 8 時

場所：鳥取大学医学部記念講堂

参加者：239 名

○シンポジウム「地域包括ケアシステムの構築に向けて」 ～認知症の一事例を通して～

講演「認知症に係る鳥取県の諸問題について」鳥取大学医部附属病院神経内科医師 和田健二先生
事例検討（高齢者世帯の認知症症例 ～在宅生活の継続が可能となった事例～）

- ・地域包括 ケア の立場から

江府町地域包括支援センター長 藤森 史子氏

- ・ソーシャルワーカー（鳥取県地域型認知症疾患医療センター）の立場から

西伯病院ソーシャルワーカー 吉川 敦氏

- ・医師（かかりつけ医）の立場から

江尾診療所医師 武地 幹夫先生

4) 第 56 回西部在宅ケア研究会例会

主治医研修会併催

日時：平成 28 年 3 月 4 日（金）午後 7 時～午後 9 時

場所：国際ファミリープラザ

参加者：79名

講演「治療が困難になった患者さん・家族への援助

～無力感にさいなまれる医療者の自尊感情・自己肯定感～」

めぐみ在宅クリニック 院長 小澤 竹俊 先生（神奈川県横浜市）

5) 米子市地域ケア会議（愛称：米子がいなケア会議）

日時：平成28年3月19日（土）午後1時～

場所：米子市役所4階401会議室